

一人は万人のために
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

ふくしま



医療生協

2023年3月号 第434号
発行責任者 山口 裕
<http://www.watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合 TEL 024-522-1236 〒960-8141 福島市渡利字中江町66
医療生協わたり病院 TEL 024-521-2056 〒960-8141 福島市渡利字中江町34
生協いいの診療所 TEL 024-562-4120 〒960-1301 福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず TEL 024-559-2664 〒960-0241 福島市笹谷字塗谷地20-1



尼崎医療生協から
支援物資が届けられました
(2011年3月23日撮影)

この絵はがきは、早川千枝子さんの作品です。早川さんは地元、榑葉町に帰郷の度に故郷の姿をたくさん絵にしてきました。



東日本大震災から12年

あの日を
忘れなさい



1mSv以下

福島医療生協理事長
齋藤 紀

放射線に曝露するとうるのか、福島島の住民が真っ先に知りたいことでした。広島で疾病と被爆線量との関係性を絶えず考えてきた経験が、ここ福島で強く、そして切実に求めら

れるとは思ってもよらなかったことでした。同時にそれは広島・長崎の原爆被爆と福島島の原発被災の違いを実践することでもありました。

違いとは、例えば被爆者

とは決して語ることがなかった1mSvの生物学的、医学的、そして社会的意味を福島の人々とは語らなければならなかったことでした。そしてどのような場合に1mSvを許容でき、どのような場合に許容できないのかを考慮することもありませんでした。価値判断は人間の側——市民の側にあるのであり、事故の重要な教訓でした。



主婦力を活かして

元副理事長
西元 幸子

東日本大震災・原発事故が起きてから、12年を迎えようとしています。12年を迎える今でも、当時のことがつい昨日のことのように思い出されます。

私は、当時、東高校の調理室で約250名分の昼食を作

る「炊き出しボランティア」をしていました。その日の支援物資を最大限活かしながらも、不足がちな肉類や海藻類等を足しながら献立を考えました。他支部の方とも協力しながら、主婦力を

発揮し、温かいものはもちろん、デザートまでバランスの整った食事を考えました。憔悴しきつた避難者からは食事がとれた喜びが伝えられ嬉しかったです。

全国から届く支援物資と地域の組合員の協力がまさに二人は万人のためにという万人は一人のためにという心豊かな生き方、共同の精神が培われて発揮されたのを肌で感じました。



福島原発事故前の
日本に戻せば、
「原発大事故次も日本」

元浜通り医療生協理事長 伊東 達也

福島原発事故は11年経っても解決の見えない問題をもたらす、県民の生活に苦しみをもたらし続けています。

それなのに、岸田政権は、原発政策を福島原発事故前に戻そうとして、①運転延長、②

原発再稼働、③新増設という、原発推進路線を強行しようとしています。

これは、福島事故を反省せず、3・11後に政府が決めた「可能な限り原発依存度を低減することさえも踏

中止に追い込むためには、昨年6月に最高裁が出した福島事故の責任は「国にはない」の不当判決を覆えさなくてはなりません。大きな力が必要です。

初期研修をふりかえって



左／福地雄仁先生、右／佐藤和磨先生

医療生協わたり病院は福島県が指定する臨床研修病院です。地域のみなさんの温かい励ましやご協力をいただきながら、研修を頑張ってこられた2名の研修医に1年を振り返ってもらいました。

初期研修を振り返って

福地 雄仁

思い返せば、2年という月日はあつという間でした。入職直後は、医師としての業務はさることながら、社会人としてのマナーを覚えることで精一杯でした。それから徐々に医師としての生活に慣れていき、自分なりに努力を重ねてきました。入職時と比べれば、自分が大きく成長したと感じ

～わたり病院の臨床研修における研修理念～

「住民の医療要求にこたえ、患者様の人権を守る立場で社会的に信頼されるための医師になるための基礎づくりを行う」

患者さんと共に歩んでいくわたり病院の研修

佐藤 和磨

研修2年目は自分の選択した診療科での研修がメインになります。私は患者さんと一緒に末永く、安心して病氣と付き合っていける医師になりたいと思っていたため、慢性期寄りの科を多く選択しました。地域医療研修では、さまざまな施設の先生方、スタッフの方々や利用者さん、患者さんに良くしていただき、温かな気持ちで研修させていただきました。また、訪問診療では、病氣だけではなく患者さんを診るという真髓を先生方や看護師さん、その他訪問診療に携

ることができました。こうして初期研修医として走り抜けることができたのは、ひとえに

上級医、同期を含めたわたり病院の職員の方のおかげだと感じています。研修医の特性上、県北地域の様々な病院で研修をしましたが、当院全体に感じられる温かさは、随一と感じます。改めて、みなさんには深く感謝を申し上げます。来年度は、内科専門研修の一環として、引き続きわたり病院で1年間お世話になることとなります。若輩ではありますが、日々精進してまいりますのでご指導の程よろしくお願ひします。



佐藤和磨先生の心臓カテーテル検査の実習風景

わる方々から感じることでできました。緩和医療研修では、人生の最終地点を前にした患者さんやそのご家族の苦痛を少しでも減らすにはどうしたら良いかを、命の尊さを感じながら考え、学ぶことができました。患者さんを大切にすることが大切です。ありがとうございました。

冬でも
元気に!

組合員活動



もちつき
よいしょー!

川西支部運動教室
新年会



指先に
汚れが
残ります

杉妻支部
ブラックライトで
手洗いチェック



脳
いきいき!

保原支部あおはる・
城ノ内班 脳トレ

地元にも
知らないこと
たくさん!

清水北支部・清水南支部
まちなかウォーキング



介護保険制度を 考える①

介護サービスが複雑になっている中、自分、または家族が、支援や介護が必要になった時に、サービスをスムーズに受けられるよう、制度を知り準備をしておく必要があります。このシリーズが一助になればと思います。



やまなみ介護支援事業所
介護支援専門員 渡辺 英明

●介護保険制度について

高齢者の増加により寝たきりや認知症など介護の

必要性が増大してきました。その一方で少子化・核家族化で高齢者のみの世帯も増え、介護をする家族の高齢化も深刻な問題となりました。介護保険制度はそうした介護をめぐる状況を背景に、介護が必要となった高齢者やその家族を支える社会保険制度として平成12年(2000年)4月からスタートしました。国

と地方自治体の税金と40歳以上の国民が納める保険料を財源とし運営されており、その運営主体は市区町村です。

●介護保険制度の対象者

○第1号被保険者(65歳以上の方)

65歳に到達する月に保険証が交付されます。原因を問わず介護や日常生活に支援が必要になったときに申請を行い、介護や支援が必要と認められると介護保険のサービスを受けることができます。

○第2号被保険者(40歳以上65歳未満の方)

特定疾病(16疾病)により介護や日常生活に支援が必要になった時に申請を行い、介護や支援が必要と認められると介護保険のサービスを受けることができます。

介護保険のサービスを利用するまでの流れ

1

要介護認定の申請

介護サービスを利用するために、市町村の担当窓口や地域包括支援センターに相談してください。申請手続きをします。



2

認定調査

申請受理後、市町村の調査員が訪問し、心身の状況を本人・家族などから聞き取ります。



3

審査判定

調査結果をコンピューターで判定し、その結果と主治医の意見書をもとに保健・医療・福祉の専門家が審査し認定を出します。判定には概ね約1か月程度かかります。



4

認定

非該当、要支援1.2、要介護1から5のいずれかに認定されます。要支援と認定された場合→お住いの地域の地域包括支援センター 要介護と認定された場合→居宅介護支援事業所が窓口になります。



きます。認定後に保険証が交付されます。
(次号に続く)

県北浄化センターの見学



組合員活動部 箱守 菜々

組合員さんと国見にある県北浄化センターの見学に行ってきました。

下水処理の過程や機械の設備について教わりながら広い施設内を歩いて回りました。施設や機械のあまりの大きさに驚きました。

浄化センターの職員さんのお話によると、一番汚れのひどいのは、家庭の台所から出る下水だそうです。

浄化センターでは最後の殺菌以外、消毒薬は使わず微生物の力で浄化を行っています。

《家庭でのポイント》

- ① 洗剤は過剰に流さない。
- ② 油はできるだけ拭き取り、流さない。
- ③ 野菜クズなど小さなゴミを流さない。

普段当たり前のように使っていますが、下水道は私たちの生活になくてはならないものです。できることから始めましょう。



「ちょっと」 おすすめの 本



福島第一原発の汚染水は、なぜ増え続けるのか

— 地質・地下水からみた汚染水の発生と削減対策 —

著者
福島第一原発地質・地下水問題団体研究グループ

本書はA5版43ページの冊子です。地学研究者を中心に構成されている地学団体研究会が、研究グループを立ち上げ、福島第一原発の汚染水問題解決のために行った研究成果をまとめたものです。まず、汚染水の発生を抑える対策の不十分さを解説していきます。加えて、汚染水の発生を減らすために、「集水井」や「広域遮水壁」などの設置を提案しています。これらの方法は、安価で工事

期間も短く、全国の土木工事で豊富な実績があるとしています。さらに、汚染水を地上に保管するために、石油の備蓄などで使われている大型タンクの活用を提案しています。

政府が、反対や不安の声を押しきって海洋放出を決行しようとしている今、是非手に取っていただきたい冊子です。販売価格は100円です。

●お問合せ先 福島医療生協
TEL 024-522-1236

渡利支部 佐藤 克行

気になる木シリーズ⑨

赤岩の種まき桜

飯野支部 佐藤 祐吉



飯野町大久保「花やしき公園」の近くに、赤岩神社という社がある。大きなみかげ岩がどーんと入口にかまえていて、その後にそびえているのが「種まき桜」とい

われる桜の古木。樹齢は不明だがおそらく100年以上。岩の後ろにびったりくっついているので根まわりを測るのが難しい。開花はソメイヨシノより少々早め、つぼみの頃はピンクの色が濃い。向かいの我が家からも色づき始めたのが見てとれる。その色具合で「ああ、今年も種まきの節がやってきたわい。」と一つの目安にしてきた。

水田の畔づくりから稲の種まき床打ち、たんざく作り、播床ならし等の作業日程は桜の開花より逆算して計画を立てるものだ。

だから、桜の顔をうかがいながら考える。オウは細かい計算は苦手だ。そこで



機関紙モニター 一般募集

機関紙モニターのみなさん、いつも機関紙編集委員会に、貴重なご意見・ご感想ありがとうございます。

2023年4月号からも、機関紙モニターを募集します。

ぜひ貴重なご意見・ご感想をお寄せください。年に5回感想をお寄せいただいた方には粗品をプレゼントいたします。

お葉書またはFAXにて、①氏名、住所 ②よかった記事 ③載せてほしい記事 ④感想 ⑤その他 を記載し下記までお送りください。

なお、いただいた情報は機関紙作成目的以外には使用いたしません。

応募先

住所 / 〒960-8141 福島市渡利字中江町66
福島医療生活協同組合 機関紙編集委員会行
FAX / 521-3475

無料

法律相談会

3月は9日です

- 日 時 / 毎月第2木曜日 13時30分から15時30分
※日時は変更になる場合があります。
- 場 所 / 福島医療生協わたり病院内
電話申込制 TEL.522-1236
- 相談員 / あぶくま法律事務所弁護士

転居の際は医療生協へご連絡を

3月は就職や転勤、進学等で住まいが変わる方が多い時期です。住所を変更される組合員さんは、福島医療生協本部へご連絡ください。



Tel. (代)522-1236 Fax. 521-3475
(福島医療生協 組合員活動部)



福島医療生協機関紙

福島医療生協の機関紙は、QRコードを読み取ることでホームページ上でもご覧いただけます。

組合員活動部LINE紹介

日々の活動、様々な情報を紹介しています。

友だち追加はこちらから



職場紹介

リハビリテーション室

自立した生活を目指して！

室長 関根 誠

わたり病院のリハビリテーション室には、現在、理学療法士(P.T)と作業療法士(O.T)と言語聴覚療法士(S.T)が在籍しています。これに加えて在宅には、訪問・通所リハビリを担当しているスタッフがいて、合計すると64名と県内でも充実したスタッフ体制です。

入院リハビリでは回復期病棟(南2階)、一般病棟・地域包括ケア病棟(南3階、4階)、緩和ケア病棟(北3階)のすべての病棟に担当者を複

数配置しています。リハビリが必要な患者さんには、入院当日からリハビリを実施しています。リハビリ専門医を中心に、日ごろから看護師・他職種と連携を密にとり、退院まで患者さんが満足できる療養生活を送っていただけるように努めています。退院後もリハビリを希望する方は、訪問リハ・通所リハと連携しリハビリテーションを継続していきます。いつでも気軽ににご相談ください。よろしく願います。

